

家庭科

教科の重点目標 生きる力をつける為の基礎的・基本的知識と技能の習得をし、生活に活かせる能力の育成を図る

| | 学習指導に関する現状と課題 | 授業改善のための具体的な取組 | 補充・発展的な学習指導の計画（具体的な取組の目標値や評価規準等） | 今年度の評価（成果と課題） |
|------|--|--|---|---------------|
| 第1学年 | <p>◎考える力を育てる観点</p> <p>小学校家庭科の延長と考えている生徒が多いので、中学校との違いをしっかりと指導する必要がある。 多くの設問を設け、自ら考えて解答を出し、授業を受けられる様にする。 学習意欲は高いので、特に作品製作においては、基本を身につけさせて、個々の技能・能力を高めさせるように取り組ませる。</p> <p>◎習熟の程度に合わせる観点</p> <p>繰り返し、細部あたって説明をしているので、理解力が高い。</p> <p>◎生徒による授業評価からの観点</p> <p>中学校の家庭科を理解できるようになり、多くの生徒が熱心に意欲的に取り組むようになってきている。</p> <p>◎学力調査などから見られる課題</p> <p>試験結果から、多くの生徒が意欲的にかつ積極的に取り組み良い結果を出しているが、家庭科を苦手とする生徒もいる。</p> | <p>ファイルや、プリントを用いることで、授業毎に、切り替えをしながら、次への授業にもつなげていく。 また、より一層丁寧な説明や設問を多く取り入れ、意欲的に取り組める内容を導入して行く。</p> <p>学習意欲は高いので、特に作品製作においては、基本を身につけさせて、個々の技能・能力を高めさせるように取り組む指導をして行く。</p> <p>技術の習得をさせる為に感心・達成感が得られる教材を用いる。 自らが楽しんで有意義に使用出来る教材を製作させる。</p> <p>自分の生活を振り返らせて、自らの生活を考え、発展させていけるような教材を取り入れる。 今後も、どの生徒も、熱心に・集中して取り組めるような教材を開発して行き、意欲を高めることを目指す。</p> <p>今まで以上に、学習に感心・意欲を高めさせるような教材の開発に努めていく。 今後も意欲的に学習に取り組める内容を導入して行き、繰り返し指導をして理解を深めさせる。</p> | <p>多くの資料を生徒に与えるとともに、生徒自らが、資料を適切に選択できる力を生徒自らが、資料を適切に選択できるような指導をして行く。 班学習を通じて、自らの考えを深めさせ、他者への心遣いや、思いやりの心や協力のところが育つような指導をして行く。</p> <p>興味・関心を高めさせる教材や内容を多く取り入れた指導をして行く。 個々の能力・技能が向上し、発展していけるように、自由な発想を大切に、それが実践できるように今まで以上に一人ひとり、より多くの目と時間をかけて、指導に当たって行く。</p> <p>生きる為の最低限の知識を理解させ、見つけさせる為に、繰り返した指導をする。 班学習を通じて、自らの考えを深めさせ、他者への心遣いや、思いやりの心や協力の心が育つような指導を今後もして行く。</p> <p>生きる為の最低限の知識を理解させ、見つけさせる為に、繰り返して指導をし、習得させる内容を取り入れる。 班学習を通じて、自らの考えを深めさせ、他者への心遣いや、思いやりの心や協力のところが育つような指導をして行く。</p> | |

